和音

越谷市立栄進中学校
第１学年 学年だより

第１０号　７月２０日（木）発行

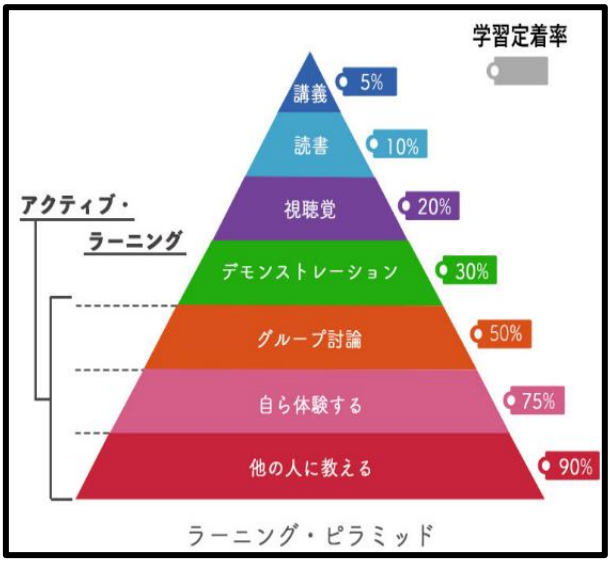
『１００点満点の　』

学年主任　山﨑　直樹

本日をもちまして、第Ｉ学期が終了いたしました。４月１０日（月）に入学式を終え、７０日間の登校日数でしたが、大きな事故や事件等が起こらなかったのは、保護者の皆様のお陰であると心から感謝しております。ありがとうございました。

さて、小学校を卒業し、期待と不安で胸を膨らませて入学してきた子どもたちですが、Ｉ学期は、表題の通り、１００点満点のハナマルであったと私は感じています。いくつもの小学校から集まり、ルールややり方の違い、考え方の違いから大抵の場合、トラブルへと発展しがちです。もちろんトラブルはゼロではありませんでしたが、私たちの想定内で終わっています。これは、子どもたちが日々の生活の中で、とにかくお互いが気を遣って生活し、お互いをリスペクトしていたからだと私は感じています。その１つに、期末テスト前に行われた『HOT 学習会』。（HOT の意味はお子さんに聞いてみてください。）ここでは、テストに向けて、子どもたち自身が教える側と教わる側に分かれ、学習会を行いました。そこでの雰囲気が言葉では表すことのできないほど、非常に良かったのです。わからない子が、素直に恥ずかしがることなく「〇〇教えて～」と言える雰囲気。それを馬鹿にするわけでもなく、わかりやすく丁寧に教える姿。簡単にできそうで、できるものではないことだと思います。それが、１年生のＩ学期の時点で普通にできてしまう、この子どもたちの質の高さを感じました。

右に示したものは、「学びのピラミッド」。学習方法や形態による「学習定着率」を表したもので、「どんな方法で学ぶと、学習者にどのくらい内容が定着するのか」という事を表したものです。ここから見てもわかる通り、人は、学んだことを人に教えることで、学習定着率が９０％になるということが分かります。つまり、本校で行っている HOT の学習活動は、科学的な根拠もあり、効果的な学習形態であると考えられます。



ラーニング・ピラミッド

これ以外にも、心のこもった、気持ちの良い挨拶ができる子がとても増えました。朝、担任が教室に入ると「おはようございます！」、授業で教室に入ると「こんにちは！」、帰り教室から出るときは「さようなら！」、その他、廊下でも移動教室先でも、どんな場所でも自ら挨拶ができています。きっと家庭でも、同じように挨拶をしているのだろうなと思い、心が温かくなる毎日でした。挨拶も素晴らしいのですが、子どもたちの「ありがとう。」という声が非常に多いことにも嬉しさを感じています。プリントを回してもらったとき、何かを取ってもらったときなど、その都度で「ありがとう。」の言葉が飛び交っています。心がある子どもたちに感動しています。

給食では、班での給食が再開し、給食中に全クラスを見て回ると、どのクラスも、班のメンバーと楽しく会話をしながら食べています。食事は、会話をしながら食べるからこそ、より一層、おいしく感じることがありますよね。話が盛り上がりすぎて、時間内に食べ終わらない生徒も時折いますが、これは、だんだんと改善されていくと思います。そして、よく食べる！ほとんどのクラスが、残食なしの日が多いです。SDGs の観点から言えば、大変素晴らしいことです。給食当番の準備もとても早く、４時間目終了後、10 分以内（学校の目標は 15 分以内）にはどのクラスも「いただきます。」ができています。４階でありながら、この時間の早さは、素晴らしいと感じています。

何事も、初めてのことが多く戸惑うことが多かった１学期であったと思いますが、子どもたちは子どもたちなりに、中学校生活に馴染むようひたむきに努力を続けてくれました。部活動においても、初めてで厳しいこともたくさんあったかと思いますが、必死に先輩についていき、努力してくれています。先輩たちの姿に憧れを抱いているようです。まだまだ、伸びていくなと強く感じています。

しかし、２学期向けて改善をしなくてはいけないことがあります。その１つに提出物があります。各教科で、テスト前にワークなどの提出がありましたが、教科担当が何度声をかけても、やらない、出さない、出したとしてもやっていない部分があるなどが見られました。非常に残念なことです。教科担当者は、何とか成績に大きく影響することがないよう、子どもたちに話をしています。本日お渡ししました通知表を見ていただき、必要に応じてお子さまとお話をしていただければと思います。

４月１０日に子どもたちに出会って３か月。毎日が新鮮で、毎日が充実し、毎日がとても幸せでした。何を言っても、素直に聞き入れ、取り組む姿、やるときはやる、笑うときは笑う、叱られたときは、心から反省する、こんな愛おしい子たちに出会おうと願ってもなかなか出会えるものではありません。このような子どもたちに出会わせていただいた保護者の方に心から感謝です。

大きな力を秘めているこの子たち。２学期は体育祭、合唱祭の行事があり、ここで先輩を見てさらに大きく成長すると思います。そして、そこからスキー教室に向けてさらに磨きをかけ、自分たちで初めて作り上げる宿泊行事を成功させてくれると信じています。

さて、４月当初にお話をした『むごい教育』。

①贅沢をさせすぎない
②辛抱させる
③自分の思い通りにはならない経験を積ませる
④学習は好き嫌い関係なく取り組ませる
⑤我慢させる

などといったことが大切なのではないかと考え、お伝えをいたしました。１学期を振り返ってみて、保護者の皆様いかがでしたでしょうか。私の感覚ですが、多くの保護者の方が、子どもたちに対して上記①～⑤のことやそれ以外のことも実践してくださっていたと感じています。これは毎日、子どもたちの様子を見ていると伝わってきます。いつでも、学校と家庭が同じ歩調で進んでいくことは、子どもたちの健やかな成長を考えると欠かせないことであります。

ところで、この先心配なことは、携帯電話・スマートフォン等の購入を求めてきた時です。もうすでに、お子さまの手元にあるご家庭もあるかとは思いますが、４月の保護者会資料にも綴じさせていただきましたが、携帯電話等は、『保護者が契約者となり購入したもので、保護者はそれを子どもへ貸し与える形となります。つまり、所有権は保護者にあり、保護者はこのスマートフォンを保護者の責任の下に子どもに貸し与えるものです。』となります。すでに持たせているご家庭もこれから持たせる予定のご家庭も、必ず、お子さまと使用上の約束を作ってください。（別添で保護者会で配付した資料を再度、お渡しいたします。）これを作らずに使用させていると、依存症になったり、SNS 等によるトラブルに巻き込まれたりしていきます。守れなければ、解約することも伝え、便利なものを正しく使用できるようにお話していただければと思います。以下に挙げたのは、この学年を卒業した保護者の方から出していただいた、『携帯電話・SNS の使用で困っていること』です。ご参考にしていただければと思います。

- 家で決まり事を作っても、スマホの使用時間は長く、勉強中も気になっている様子もあり。集中力低下につながっていると思う。
- 携帯電話の使用方法が親との約束を守れない。
- 学業において約束した結果が出せるまでスマートフォンは買い与えないことになっています。周りの人たちがほとんど使いこなしているので欲しい欲求が抑えられず家族に不満をぶつけたりします。
- 就寝時間が遅く、翌朝に影響が出る
- 試験前にも関わらず LINE 等をしている時間が長い。
- スマートフォンばかり見ていて話を聞かない。
- 「公式」を勘違いしているのか、知らない人と LINE で「友達」になってしまっている。
- Youtube の関連する動画を次々…と観ているようなので、不適切な動画を観たりしないだろうか、という不安は PC でもある。
- 自室に持ち込まない、SNS 等は自分で責任が取れるようになるまでやらない、夜間に LINE 等と他人と連絡を取らない、と決めているが守らないことがある。

明日から、８月２７日（日）までの３８日間、夏季休業期間となります。子どもたちにとって、小学校の時とは大きく変化する夏休みだと思います。部活に取り組みながらも、宿題を計画的に進めていかなくてはいけません。また、１学期の復習も行わないと、２学期が大変になります。めげずに、ひたむきに努力を続けてほしいと願っています。コバトン問題集、ミライシード、AIドリル等、取り組めるものには、どんどん取り組ませてください。今躓いている場合には、小学校まで戻ることも大切です。お子さまに合わせて進めていただければと思います。

また、毎年、夏休み中に水の事故が多く発生し、命を落としてしまうケースもあります。特に、川は、曲がり方、傾斜、川幅、岩の突出などの地形によって、右岸、左岸でも川の流れが違っていたり、川底に深みがあったりするため急に流されたり、深みにはまったりする危険があります。また、上流の天候などによって大きく変化し、安全と思われる場所でも、上流で豪雨などがあると急に増水し、水難につながる危険があります。そのため、たとえ浅い川でも急に増水することがあるため、ライフジャケットを必ず着用させてください。そして、お子さまから絶対に、目を離さないようお願いします。

夏休みはぜひお子さまとたくさんの会話をしていただければと思います。もしかすると１学期で悩みを抱えているお子さまもいるかもしれません。私たちに話すことができないこともあるかと思います。お話を聞いていただき、必要があれば学年職員までご連絡ください。一緒に考えていきたいと思います。

それでは、８月２８日（月）に、また元気な子どもたちに会えることを楽しみにしています。２学期も子どもたちがよりよい「ひとり立ち」ができるよう、子どもの心の様子をしっかりと捉えながら、時には厳しく、時には丁寧に導いていき、「意思と筋金」をもった人に育て上げていくことを目標に進んでいきたいと考えています。ご家庭と学校が『共同生産者』となり、子どもたちを３年間育てていきましょう。私たち職員は、いつでも『生徒を愛して鍛えて、育てて、そして送り出す』ことを第１に考えています。保護者の皆様には、２学期も変わらず、『手を離して、目を離さず』にお子さまと関わっていただければと思います。

長文を最後まで読んでいただきありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。